

おしえて 新庁舎建設

市役所を建て替えるって聞いたけど、どこに建てるの？

今、市役所が建っている所に建てるんだよ

へ〜。どうしてそこに決まったの？

お城を中心としたまちづくりなど、松本市の計画に適している
市役所の場所として広く定着している
公共交通機関が確保されていてみんなが来やすい
新しい土地を購入する必要がないという理由から決まったんだ。

そうなんだね。ところで市役所の前は何が建っていたの？

昔、本庁舎付近には昔武家屋敷や藩校が建ち並んでいて、東庁舎には病院や教会が建っていたんだよ。本庁舎と東庁舎の間の道は、江戸時代に馬術の訓練に使われていたみたい。

へえ〜!

現在の市役所庁舎は、本庁舎が昭和34年（1959年）、東庁舎が昭和44年（1969年）の建築で、これまでも市議会や市民の皆さんから、新庁舎の必要性について意見をいただきました。可能な限り現在の庁舎を有効活用する考

えのもと、耐震補強工事の実施や、不足するスペースはプレハブ庁舎を設置するなどして対応してきました。しかし、本庁舎が建築後60年（鉄骨鉄筋コンクリート造建物の一般的な耐用年数の目安）を目前に控え、来庁され

る方の安全・安心を確保するため、平成28年度から新庁舎建設に取り組んでいます。この度、本市が目指す新庁舎の建設指針となる基本的な考え方を示す「松本市役所新庁舎建設基本構想」を策定しましたのでお知らせします。

● 問い合わせ 政策課（本庁舎3階）

☎ 34-3274 ㊟ 34-3201

市役所新庁舎建設基本構想を

策定しました



松本市役所庁舎のあゆみ

平成37年〜



昭和34年〜現在



大正2年〜



- 平成29年9月
現在地を新庁舎の建設場所とすることについて市議会と協議し、決定
- 平成31年（予定）
庁舎の具体的規模や事業手法などを定めた新庁舎建設基本計画を策定します。
- 平成37年（予定）
供用開始を目指します。

- 昭和34年5月竣工
丸の内3番7号（現在地）
- 当時では珍しかったエレベーターが設置され、一般公開の折に、エレベーター前が長蛇の列となったそうです。
- 昭和44年に、事務の充実や増加等から、東庁舎が建設されました。

- 大正2年1月竣工
大手4丁目4番（上土町）
- 市制施行から、旧病院を修理した町役場をそのまま使用していたが、狭くなったため改築を決議
- 市内随一と謳われた一見鉄筋レンガづくりに見える建物も木造の建物でした。

こんな新庁舎を目指します



時代の先を読み、変化し続ける力を備えた、

びとやまちを結ぶ庁舎

市役所新庁舎の基本的な考え方

1 分かりやすさ・
使いやすさを
実感できる庁舎

分かりやすい案内やサインなどで、初めて来庁する方でもスムーズに目的の場所へ誘導します。

また、市民の皆さんが手続き等のために訪れるフロントヤード部分と職員が作業するバックヤード部分を区分して、『シンプルで使いやすい空間をデザイン』するとともに、市民サービスの向上につながる執務環境の整備を図ります。さらに、来庁者にとって最良のデザインと機能の配置を検討し、誰にでもやさしいユニバーサルデザインとワンフロアやワンストップで、質の高い行政サービスの提供を目指します。

2 松本城と共に時を
刻む庁舎

松本城天守の東、外堀と片端町の総堀に画された三の丸に位置する立地を生かした、松本城公園内の歴史的構造物、堀や樹木、東西の山並みと調和した良好な眺望景観を形成します。さらに、松本城と相乗した新たな空間を生み出し、地域の発展に貢献する庁舎を目指します。

また、緑化や湧水等の松本市の特色が感じられる、『ゆとりとやすらぎの空間づくり』を進めます。

3 コミュニケーションが
芽生える庁舎

まちとひとを接続するハブ機能をこれからの市役所の役

割の一つとして捉え、市民、企業、行政など、多種多様な立場の人たちの交流や対話を生み出して市政運営に生かすなど、『新たな共創・協働』を育みます。

市民の代表である市議会が、その権能を十分に発揮できる庁舎を目指します。

4 コンパクトな
ネットワーク型の庁舎

庁舎建設を従来の仕事の仕方や組織体制を見直す機会と捉え、『行政機能の適切な配置』を進めます。そして、部局の枠組みを超えた職員間・組織間の繋がりが一層深まり、市内各所に配置している『行政機関を生かし支える』庁舎を目指します。

5 新たな時代のオフィス
のモデルとなる庁舎

働く人にとっての働きやすさが、より良いサービスの提供につながります。多くの市民の皆さんが訪れる庁舎から、新しい働き方の導入を進め、健康経営を実践して、『常に一歩先を行くオフィス』を社会に提示していきます。

ICT、AI等の最新技術を率先して活用して、効率的な行政サービスと洗練されたスペースを生み出します。

6 リスクに備える庁舎

災害発生時における拠点施設としての『災害対応力を発揮』できる庁舎を建設します。

また、個人情報や行政情報を守る高度な情報セキュリティを確立するとともに、防犯面を含めた物理的なセキュリティを確保します。

7 世代を超えて
受け継がれていく庁舎

庁舎内の配置を自由に変更できる『フレキシブル(柔軟

こんな姿勢で新庁舎建設に取り組みます

- ◇さまざまな問題に対して、知恵を出して問題の解決に当たります。
- ◇市民の皆さん、民間企業の間を取り入れ、将来の人たちにも喜んでもらえる市役所庁舎を目指します。
- ◇市民の皆さんと一緒に庁舎建設に取り組みます。



に応用がきく」な設計」に取り組みます。また、ゼロエネルギービル（ZEB）に代表されるようなエネルギーの効率的な利用を進めるなど、環境にやさしく、サステナブル（持続可能性の高い）で、将来の市民も誇りを持てる庁舎を目指します。